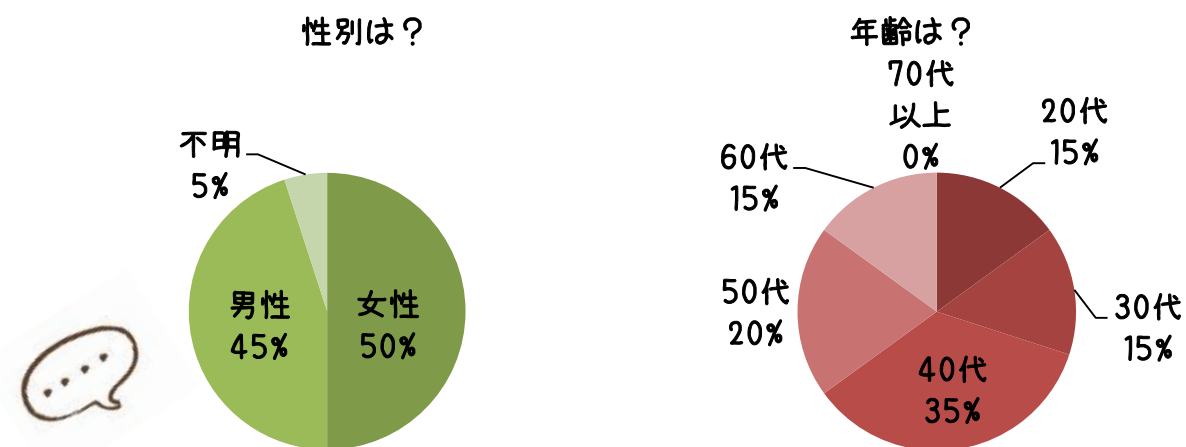


第3回ワークショップ参加者アンケート結果



回答者 20 名



本日の内容・進め方はいかがでしたか？良かった点、気になった点がありますか？

- ◎“チェックイン”があって、少し話しやすい雰囲気が作れたので良かった。
- ◎班で最初から最後までしっかり話し合えたのでよかった。
- ◎自分たちでテーマを決めて話し合うことができたので進行がしやすかったです。
- ◎事前に絞り込んだカードに基づいての進行がよかった。もう少しグループ内での話し合いの時間があるとよかった。
- ◎自由な意見交換が楽しかった。班で3つの課題を選んで解決方法を話し合ったが、時間が足りず残念だった。
- ◎課題が多くてなかなか時間内で結論を出すのが難しかった。
- ◎時間に余裕がなかった。
- ◎あまりに難しく考えることが多かった。

男女共同参画を進めるために、あなた自身が取り組みそうなこと、取り組みたいことはどんなことですか？

- ◎まずは家庭から取り組みたいです。
- ◎男女共同参画の話題を職場や家で話す。
- ◎子育て講座などで男女共同参画の視点を持った人に講師に来てもらう。
- ◎地域で草の根から少しずつ発信、啓発できるとよいと思いました。
- ◎それぞれの人の個性、特性を尊重して対応する。
- ◎「変だな」「おかしいな」と思うことは声を上げるようにしたい。
- ◎世代間交流。



☆次回のお知らせ☆

日時 2014 年 10 月 25 日(土) 10:00~12:00

場所 志免町民センター視聴覚室

お問い合わせ先 志免町地域交流課 電話 092-935-1853

FAX 092-935-3417

次回では、男女共同参画が実現した志免町をイメージしていきましょう。

志免町男女共同参画行動計画策定
住民ワークショップ NEWS 3号

第3回ワークショップ開催！

さる9月27日(土)、志免町男女共同参画行動計画策定のための第3回ワークショップが開催されました。当日は素晴らしい秋晴れの中、行楽に行きたいはやる気持ちを抑え、みなさん熱心に参加していただきました。

前回はワールドカフェ形式で志免町の男女共同参画について、各々自由に語り合ってもらいました。今回はそこから見えてきた15個の課題について、5グループに分かれて3つまで絞り込み優先順位をつけてもらいました。その後各グループで3つの課題について、町(行政)が取り組むこと、個人で・家庭で・職場で・地域で取り組むことの2つに分けて解決策までを考えてもらいました。課題の優先順位づけが難しく、また解決策を考えるのも難しく、時間の余裕がない中、みなさん一致協力し発表にまでいたり、時間内に終わることができました。

住民ワークショップ全体スケジュール

第1回 「知り合おう！」 2014 年 7 月 19 日(土)
まずは知ろう
お互いのこと、男女共同参画のこと

第2回 「語り合おう！」 2014 年 8 月 9 日(土)
みんなで語り合おう
志免町の男女共同参画

第3回「見つけよう！」 2014 年 9 月 27 日(土)
どうやって解決する？志免町の課題

第4回 「イメージしよう！」 2014 年 10 月 25 日(土)
男女共同参画が実現した志免町って？

第5回 「PRしよう！」 2014 年 11 月 15 日(土)
これが私たちの目指す志免町！

第3回のプログラム

- 9:30 受付開始
- 10:00 開会のあいさつと
前回の振り返り
- 10:10 チェックイン
- 10:15 志免町の課題を考える
- 11:00 休憩
- 11:10 解決策を考える
- 11:35 発表
- 11:50 全体のまとめと
次回のWSの説明



男女共同参画に関する15の課題

① 家庭や職場、地域での役割が性別で決められてしまって、「個」が尊重されていない 2・3・4・5班	② 職場や地域の意思決定の場で女性の能力が活かされていない（地域の役職や職場の管理職など）	③ 多様な性のあり方が尊重されていない	④ 「男は仕事、女は家庭」という性別役割分担意識が根強い
⑤ 男性の家庭参画が進まず、特に中高年の男性の生活自立ができていない	⑥ 男女共同参画に対する町民の認識が薄く、関心が低い 1班	⑦ 性別・年齢別の健康課題に十分に対応できていない（性教育、メンタルヘルス、生活習慣など）	⑧ 小さいころから「男らしさ、女らしさ」を求められる（教育、しつけ、アニメ、おもちゃなど） 1班
⑨ DVやデートDVについての認識が浸透していない（加害者、被害者、周囲の人々） 1・2・3班	⑩ 世代間での意識の差が大きい 4・5班	⑪ 男性の育児参画が難しい（育児休業が取得しづらい、長時間労働、男性の意識の問題など）	⑫ 働き方の多様化が進んでおらず、子育てや介護と仕事の両立が難しい 2・5班
⑬ 男女共同参画についての企業の支援・理解が不足している	⑭ 結婚や出産で退職する女性が多く、女性の経済的自立が難しい	⑮ 男性が地域に参画できておらず、地域でつながりをつくりていない人が多い 3・4班	

男女共同参画に関する課題の解決策

選択した課題	町(行政)が取り組むこと	個人で・家庭で・職場で・地域で取り組むこと
① 家庭や職場、地域での役割が性別で決められてしまって、「個」が尊重されていない 2・3・4・5班	啓発（町内会、審議会など） ・リーダー養成・職員研修	学校教育・社会教育の利用 ・出前講座・ワークショップ
⑥ 男女共同参画に対する町民の認識が薄く、関心が低い 1班	地域での様々な機会での啓発 地域リーダーの養成	わかりやすい啓発資料の作成 条例の周知

選択した課題	町(行政)が取り組むこと	個人で・家庭で・職場で・地域で取り組むこと
⑧ 小さいころから「男らしさ、女らしさ」を求められる 1班	教育者への教育、学習の場を設ける 子ども向けワークショップ開催 	左記の取り組みを通じて学んだことの実践 男の子でしょう、女の子でしょう、という言葉なくす
⑨ DVやデートDVについての認識が浸透していない（加害者、被害者、周囲の人々） 1・2・3班	中高生への研修の継続 講演会の開催 学校などで討論をさせる	啓発（小中高生、保護者） 学校での教育 被害者支援の充実
⑩ 世代間での意識の差が大きい 4・5班	定期的な情報発信 性別でなく個の重要を伝える	家庭内での教育・家庭で話す PTA 講演会で取り上げる 職場での啓発 地域のつながり（顔見知り） 相談機関への積極的利用 自分や周囲のDVに敏感になる
⑫ 働き方の多様化が進んでおらず、子育てや介護と仕事の両立が難しい 2・5班	待機児童の解消、保育施設の整備 多様な働き方の紹介 	多様な働き方の取り入れ 女性が続けられる職場づくり ワークシェアリング 見守り隊の活用
⑮ 男性が地域に参画できておらず、地域でつながりをつくりていない人が多い 3・4班	地域活動の重要性、必要性の啓発 開催の曜日・時間帯の考慮	地域活動をPRする 男性を対象とした企画をする 地域活動の地域での情報共有

